

価格は平年を上回る見込

平年を下回る見込み。

細心な管理のもとに行われている試験である。

Luvissols という赤褐色の粘土集積層を持つ土壤である。

砂のバランスが良いため作物栽培に適している。

また、小麦は根などのバイオマスを多量に土壤中に残す作物であり、ロザムステッド農業試験場の土壤は炭素含有率が1・0%と低いことから、小麦の栽培だけで土壤中の有機物含量を維持できたとの考えられる。

小林 交配

兵庫県加古川市粟津四〇四

小林種苗株式会社

集積層における粘土含量は20%以上であり、粘土が多いため有機物はこれに結合して安定化し保持される。作土層(0~

もともと作土中に少量の石灰岩(chalk)の小片を含んでいることからカルシウムに富んだ土壤であるが、さらに作土のpHが小麦の生育に適した値になるように必要に応じて炭酸カルシウムを施用している。除草剤も必要に応じて散布し、殺菌剤は春と夏に散布している。

また、連作の弊害を緩和するため、1935年

また堆肥施用区における土壤有機物含有率の増加は、収量以外にも各種のメリットをもたらしているはずであるが、このことについてはあまり宣伝していないようである。

最適土壤で細心管理

23cm)の土性はシルト質

埴壤土(silty clay loam)であり、粘土、シルト、

すなわちロザムステッド試験場における長期試験は、最適な土壤の上で